

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(1) 豊かな自然環境と共生した生活を実現します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

多面的機能支払交付金

4億4,369万円

(担当：農業政策推進室農業政策推進係)

田や畑及び農業用水などの資源や農村環境の保全を図るための共同活動に対して支援します。

財源 県の負担額 3億3,318万円
市の負担額 1億1,051万円



共同活動による水路の泥上げ作業

住宅用太陽光発電設備設置事業補助金

戦略3

1,200万円

(担当：環境課環境政策係)

地球温暖化対策と低炭素社会の実現を目的として、一般家庭における太陽光発電システムの設置に助成します。



一般家庭への普及が進む太陽光発電

クリーンセンター基幹的設備改良事業

8億6,733万円

(担当：環境課生活環境係)

クリーンセンターの延命化を図るため、主要な機器の大規模改良工事を行います。

財源 国の負担額 1億1,077万円
市の負担額 7億5,656万円
(うち市債[借入金] 4億0,120万円)



大規模改良工事を行うクリーンセンター

(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

住環境リフォーム助成事業

戦略3

4,200万円

(担当：建築住宅課建築係)

市民の住環境の向上を図るため、個人住宅の省エネ等と併せて実施するリフォームに対して、対象工事費の5% (上限10万円) を助成します。

さらに、市内業者が施工するリフォームには、対象工事費の10% (上限20万円)、水洗化工事を実施する場合は10万円を上乗せして助成します。



浴室のリフォーム工事

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(2) 多様な暮らしを満喫できる生活環境を形成します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

地域交通対策事業

2億6,480万円

戦略3

(担当：市民協働課地域振興係)

公共交通の利便性の向上を図るため、高齢者の通院や中学生・高校生の通学に配慮しながら、交通空白地域の解消や、市民のニーズに合わせた時刻の設定を行い、利用しやすいバスを運行します。

また、子育て及び教育にかかる経済的負担を軽減するため、市民バス全路線（古川線を除く。）において中学生・高校生の片道運賃100円、古川線で通学定期券を購入した中学生・高校生の保護者に対して助成を行います。

さらに、公共交通ネットワークを再構築するため、栗原市地域公共交通網形成計画を作成します。

財源	県の負担額	1,053万円	市の負担額	2億5,427万円
----	-------	---------	-------	-----------

都市計画街路事業

3億7,654万円

戦略1

(担当：都市計画課都市計画係)

都市計画道路として安全で快適な交通体系を確保しながら、利用しやすい街路づくりを推進します。

《築館》一迫南線、駅前大通線
《若柳・志波姫》新山十文字線

財源	国の負担額	1億1,760万円
	市の負担額	2億5,894万円
	(うち市債[借入金])	2億5,410万円)



ボックスカルバートによる整備が進む
都市計画道路新山十文字線

携帯電話基地局整備事業

3,407万円

戦略3

(担当：市政情報課情報化推進係)

栗駒鳥沢地区に携帯電話基地局を整備し、携帯電話の不感エリアを解消します。

財源	国・県の負担額	2,498万円
	事業者の負担額	379万円
	市の負担額	530万円
	(うち市債[借入金])	520万円)



花山金沢地区に整備した携帯電話基地局 (平成25年度)

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(3) 安全・安心なまちづくりを推進します

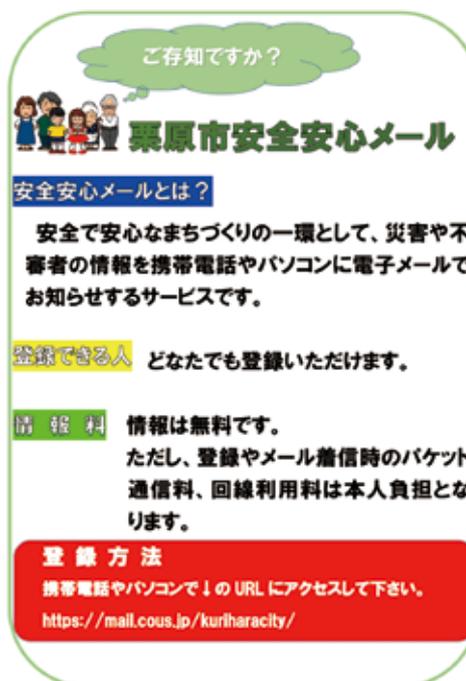
新 = 新規事業、**拡** = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

新 防災情報伝達手段の確立 570万円

戦略3 (担当：危機対策課防災係)

防災情報伝達の充実、拡充を図ることを目的として、スマートフォン等の携帯端末で、避難所に関する情報やハザードマップなど、様々な防災地図情報等を提供することができる防災アプリの開発や、災害や不審者情報を電子メールでお知らせする安全安心メールの登録促進、自主防災組織の伝達訓練を実施します。

栗原市安全安心メール登録促進チラシ



ご存知ですか？

栗原市安全安心メール

安全安心メールとは？
安全で安心なまちづくりの一環として、災害や不審者の情報を携帯電話やパソコンに電子メールでお知らせするサービスです。

登録できる人 どなたでも登録いただけます。

情報料 情報は無料です。
ただし、登録やメール着信時のバケット通信料、回線利用料は本人負担となります。

登録方法
携帯電話やパソコンで↓のURLにアクセスして下さい。
<https://mail.cous.jp/kuriharacity/>

拡 消防施設整備事業 9,152万円

戦略3 (担当：消防本部総務課総務係
消防本部警防課警防係)

1. 5トン水槽と圧縮空気泡消火装置及びホースカーを装備した水槽付消防ポンプ自動車や指令車の更新、災害用軽トラックや消防団に小型動力ポンプ付積載車を配備します。

財源	国の負担額	1,227万円
	県の負担額	725万円
	市の負担額	7,200万円
	(うち市債[借入金])	6,670万円)



北タンク車イメージ写真

拡 消防団装備充実強化事業

戦略3 2,338万円

(担当：消防本部総務課総務係)

林野火災時等に使用する可搬式散水装置及び水害等の災害現場で、活動時の安全を確保するための救命胴衣並びに雨衣を整備いたします。

財源	県の負担額	779万円
	市の負担額	1,559万円



救命胴衣(左) 雨衣(中) 可搬式散水装置(右)

1 「恵まれた自然に包まれた 質の高い暮らしのまち」

(3) 安全・安心なまちづくりを推進します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

災害対策事業

2, 855万円

(担当：消防本部総務課総務係、消防本部警防課警防係)

平成27年9月関東・東北豪雨災害の教訓を踏まえ、水防資機材の未整備地区や地域及び災害拠点となる栗原消防署に必要な資機材を配備します。また、栗駒地区、鶯沢地区及び金成地区に水防倉庫を建築します。

財源	県の負担額	479万円
	市の負担額	2,376万円
	(うち市債[借入金]	1,170万円)



救命ボートイメージ写真
(平成27年9月関東・東北豪雨での活動状況)

栗駒山火山対策事業

296万円

(担当：危機対策課防災係)

気象庁は、火山防災のために監視・観測体制の充実の必要がある全国50の活火山を常時監視していますが、栗駒山も含まれているため、栗駒山周辺の県や市などで構成する栗駒山火山防災協議会でハザードマップを作成し、住民や登山者、観光客の安全確保に努めます。



噴火の兆候はなく、静穏に経過している栗駒山

防災指導員フォローアップ事業

137万円

(担当：危機対策課防災係)

宮城県が開催する防災指導員講習会を受講し、認定された防災指導員を対象として、フォローアップ講習を実施し、防災指導員のスキルアップを図り、自主防災組織の成熟を促進します。



宮城県防災指導員養成講習の様子

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(1) 次代を担うたくましい子どもを育成します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

学府くりはら「教員等配置事業」

戦略5 5, 141万円

(担当：学校教育課指導係)

きめ細かな教育活動を行うため、市独自に教員を採用して35人学級を編制することにより、学校生活の基本となる学習習慣や生活習慣の着実な定着を図ります。

学府くりはら「少人数指導事業」

戦略5 1, 403万円

(担当：学校教育課指導係)

中学校の国語・数学・英語などの授業で、生徒の発達に配慮し個性に応じた教育を行うため、少人数指導の教員を配置し、きめ細かな指導を行い、学力向上を図ります。

放課後健全育成事業（放課後児童クラブ）

戦略3 1億9, 268万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

労働などにより、保護者等が昼間家庭にいない児童（小学生）を対象に、安心して過ごせる遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図るため、市内全地区で放課後児童クラブを実施します。

【開設期間】

4月1日～3月31日

※土日、年末年始等を除く。

【開設時間】

平日（登校日） 13：30～18：30

長期休業日等 7：30～18：30

財源	国・県の負担額	1億1, 462万円
	利用者の負担額	2, 263万円
	市の負担額	5, 543万円



放課後児童クラブでの子ども達の様子

青空大使派遣事業

戦略5 995万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

市内の中学2年生20人をオーストラリアへ派遣し、現地学生との交流やファームステイを通じ、国際感覚豊かな人材を育成します。



お土産の万華鏡を説明する団員

(仮称) 北部学校給食センター建設事業

戦略5 9, 908万円

(担当：学校教育課学務係)

平成28年8月の開業に向けて、(仮称)北部学校給食センターの給食配送車や厨房備品等の整備を行います。



開業準備が進む(仮称)北部学校給食センター(金成地区)

2 「豊かな感性と生きる力を育むまち」

(2) 人生を楽しむための実践機会を充実します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

クロスカントリーコース整備事業 戦略1・3 7,378万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

築館いこいの森公園内に、自然の起伏を生かしたクロスカントリーコースを整備します。

財源 市の負担額 7,378万円
(うち市債[借入金] 7,000万円)

ホッケー競技推進事業 戦略1 1,270万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

「ホッケーのまちくりはら」を確立するため、オーストラリアの中学生・高校生世代のホッケーチームと国際交流試合等を行います。

栗原ハーフマラソン大会の開催

戦略1・3

500万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

日本陸連公認の栗原市ハーフマラソンコース(若柳地区)を会場に、市民の健康増進やスポーツによる交流人口の増加を図るため、栗原ハーフマラソン大会を開催します。

※ 今年度の開催予定日
平成28年11月13日(日)



昨年の栗原ハーフマラソン大会の様子

(3) 地域に根ざした文化の振興と歴史の継承を図ります

市内民俗資料集約事業

627万円

(担当：文化財保護課文化財係)

市内各地から集約した民俗資料を展示保管する施設を整備するため、実施設計を行います。



展示保管施設として生まれ変わる旧富野小学校



集約した民俗資料